

ごあいさつ



一般社団法人岩手県芸術文化協会
第71回岩手芸術祭実行委員会

会長 柴田和子

芸術の秋を彩る岩手芸術祭が開幕いたします。

県内最大の総合芸術祭である「岩手芸術祭」は、県民の芸術文化活動の成果を発表する場として、また、芸術を身近に鑑賞できる場として回を重ね、今年で第71回目を迎えることになりました。これまでの県民の皆様の御理解と御支援に対しまして、心から感謝申し上げます。

今年度も、第71回の岩手芸術祭を盛り上げるため、岩手芸術祭総合フェスティバルと合わせて二日間にわたる第2回芸術体験イベントを開催するとともに、岩手芸術祭の県民総参加的な盛り上げを図るため、宮古地区において、岩手芸術祭総合フェスティバルを開催することにしております。

今年の岩手芸術祭総合フェスティバルは、「つなぐ～芸術は人と人をつなぐ、時代をつなぐ、出演者と鑑賞者をつなぐ」をテーマにプログラムを構成し、幅広いジャンルの県内の優れた文化芸術団体の出演のほか、今回は、はじめて、隣県の文化芸術団体にも御出演をいただき、県内最大の文化芸術の祭典に相応しい、多種多様なステージが繰り広げられます。

どうか最後までごゆっくりご鑑賞をいただき、温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本事業の開催にあたり、御尽力くださいました関係者の皆様に心から感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

釜石市立釜石小学校 校歌

(いきいき生きる)

作詞/井上ひさし 作曲/宇野誠一郎

いきいき生きる ひとりで立って 困ったときは 星を目あてに 息あるうちは	いきいき生きる まっすぐ生きる 目をあげて まっすぐ生きる いきいき生きる
はっきり話す びくびくせずに 困ったときは 人間について 考えたなら	はっきり話す はっきり話す あわてずに よく考える はっきり話す
しっかりつかむ まことの知恵を 困ったときは ともだちの手を 手と手をつないで	しっかりつかむ しっかりつかむ 手を出して しっかりつかむ しっかり生きる

主催

岩手県 岩手県芸術文化協会 岩手県文化振興事業団 岩手日報社
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手

後援

盛岡市 NHK盛岡放送局

協力

運営補助 岩手女子高等学校
記録撮影 岩手県写真連盟

企画

— 岩手芸術祭総合フェスティバル企画運営委員会 —

構成・演出	大森 健一 (岩手県演劇協会)
演出補佐	大沼 まゆみ (岩手県洋舞協会)
アドバイザー	上田 次郎
民俗芸能コーディネーター	藤沢 清美 (岩手県民謡協会)
合唱コーディネーター	太田代 政男 (岩手県合唱連盟)
舞台監督	近藤 英一
舞台美術	小笠原 卓雄 (岩手芸術祭美術展現代美術部門)

問い合わせ先

岩手県芸術文化協会 TEL. 019-626-1202

携帯電話の電源はお切りになるか、マナーモードにお切り替えください。
主催者の許可のない撮影・録音は禁止させていただきます。
大ホール客席での飲食は禁止となります。



第71回

岩手芸術祭 2018

総合フェスティバル

2018年10月6日(土)

開場 12:35 開演 13:00 岩手県民会館 大ホール

Design by Katsuo Koyahata

この手から 広がる世界 繋がる文化



プログラム

司 会 甲斐谷 望 (IBC岩手放送アナウンサー)
アシスタント 武蔵 未侑 (岩手県立盛岡第一高等学校3年)
第65回NHK杯全国高校放送コンテスト県大会アナウンス部門最優秀賞

テーマ：つなぐ
～芸術は、人と人をつなぐ、時代をつなぐ、出演者と鑑賞者をつなぐ～

第1部 「人と人をつなぐ」

担ぎ太鼓／佐比内金山太鼓保存会 (高橋 環、高橋 徹)

「国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産登録 早池峰神楽」 大償神楽保存会

- (1) 演 目／権現舞
権現舞は、悪魔払いと無病息災を祈願するものであり、一般的に見られる舞。権現舞は、神楽の最後に必ず舞われる、あらゆる災いを退散、調伏させ、人々の安泰を祈禱する舞で、特に格式が高いものとして扱われている。権現とは、神の使いの聖獣の獅子としてではなく、神が仮の姿になって現れたことをいい、神の化身として扱う。
- (2) 出演者／大償神楽保存会：佐々木 隆 佐々木栄一 佐々木金男
佐々木隆・栄一の親子二代による権現舞。
<大償神楽>花巻市大迫地区に伝わる神楽。山伏修験者が演じたものが伝承されたもので、早池峰神社の例祭に奉納される。同地区には岳神楽もあり、二つとも国指定の重要無形民俗文化財に指定される。

「藤井淳子ダンススタジオのソロと群舞」 藤井淳子ダンススタジオ 岩手県洋舞協会

- (1) 演目1 / 群舞 「limited space」
第75回全国舞踊コンクール現代舞踊群舞部第2位受賞。
秋田全国舞踊祭モダンダンスコンクール最優秀賞群舞受賞。
演目2 / ソロ 「mother」
- (2) 出演者
◆藤井淳子ダンススタジオ
室岡 春香 藤舘 夏奈 鈴木 由奈 金井 麻耶 高橋 瑞葉
山下奈々実 樋下 明嶺 小原 真優 熊谷 そら 高橋 明里
高橋 野愛 石井 知里 野田 陽香 笹木 雪那
- ◆藤井 淳子
第74回全国舞踊コンクール創作舞踊部2位、第30回こうべ全国洋舞コンクール創作部門優秀賞、第50回埼玉全国舞踊コンクール創作舞踊部門1位・埼玉県舞踊協会賞・埼玉県知事受賞。

「クラシックバレエ・モダンバレエ・ジャズダンスのコラボレーション」 岩手県洋舞協会

- (1) 演 目／「Borderless ～小さな1歩～」
黒沢智子バレエスタジオ、藤井淳子ダンススタジオ、スタジオDANCE ONEの皆さんによる、「クラシックバレエ、モダンバレエ、ジャズダンスのコラボレーション」。これは、岩手県洋舞協会初となるジャンルを超えた共演。
- (2) 出演者
◆黒沢智子バレエスタジオ
村上 弘子 山川 あや 高橋 芽生 池田 理子
松浦 咲 森 奏子
- ◆藤井淳子ダンススタジオ
藤井 淳子 室岡 春香 鈴木 由奈 高橋 瑞葉
小原 真優 石井 知里
- ◆スタジオDANCE ONE
菅野 佑美 本宮佳央理 金田 樹奈 関 清花
関 恭花 辻本 爽羽

「民謡 千葉栄人／菊池マセ」 岩手県民謡協会

- (1) 演目1 江差追分／本唄・後唄 千葉 栄人
日本人の心の奥底に共感を呼び起こす唄として、全国に、海外日系人に人気の唄で日本民謡随一の唄。江戸時代中期に北海道江差町に生まれたこの唄は、漁師の心意気で育まれ、幾多の変遷を経ながらこの地に根付き、いまでは北海道指定無形民俗文化財となっている。
<千葉 栄人>平成元年第27回江差追分全国大会優勝。北海道以外の出場者で初めての優勝者。
- (2) 演目2 外山節・古調外山節／唄 菊池 マセ
昭和13年盛岡市在住の美声歌手大西玉子が「古調外山節」を調整し、キングレコードから発売して大ヒットした曲。かつて、外山牧場に働く人々が草刈り唄としてうたったこの唄は、岩手を代表する民謡として全国に知られるようになり、今では多くの県民に愛唱されている。
<菊池 マセ>若くして日本コロムビア専属となり、岩手民謡界をリードする民謡歌手。
- (3) 出演者 三味線／照井真実都 尺 八／藤沢 東清
掛け声／井上るみこ 太 鼓／井上ひろみ

特別出演「国指定重要無形民俗文化財 西馬音内の盆踊り」秋田県 西馬音内盆踊保存会

- (1) 演 目
秋田県南部、雄勝郡羽後町西馬音内に伝わる国指定重要無形民俗文化財。七百年余りの伝統を誇り、日本三大盆踊りの一つ。深くかぶった編笠に艶やかな端縫い衣装、亡者を思わせる彦三頭巾に藍染の踊り浴衣の老若男女が、流麗・優雅に踊る。
- (2) 出演者／西馬音内盆踊保存会
1947年保存会が設立、1981年国の重要無形民俗文化財に指定。全国伝統芸能大賞受賞。サントリー地域文化賞受賞。羽後町文化功労章受賞。

第2部 「思いをつなぐ」

式典「感謝のセレモニー」

長年、芸術文化に尽力されてきた方々への感謝。

- (1) 受賞者の紹介と感謝状贈呈
(2) 「芸術祭テーマ」優秀賞表彰
(3) 主催者挨拶 岩手芸術祭実行委員会 会長 柴田和子
(4) 挨拶 岩手県知事 達増拓也

感謝状受賞のみなさん

<美術部門>		
■日本画部門 菅田 美世子さん	■洋画部門 渡辺 鉦悦さん	■工芸部門 佐々木 幸子さん
■書道部門 斎藤 溪石さん	■デザイン部門 井上 美知子さん	
<舞台等部门>		
■演劇部門 館林 克典さん	■茶道部門 菊谷 愛秋さん	■日舞部門 水木 歌穂さん
■民謡部門 小笠原 太吉さん		
<文芸部門>		
■短歌部門 松田 久恵さん	■俳句部門 川原 道程さん	■文芸評論部門 望月 善次さん

芸術祭テーマ優秀作品

「この手から 広がる世界 繋がる文化」
作者 本堂 歩さん (岩手県立伊保内高等学校)

伴奏／岩手県管弦楽連盟…山口あうい 齊藤 弦 藤澤 英子 三浦 祥子
岩手県ギター協会…浅野目純子 鈴木かおり 樋口 卓子 青苅 明美
佐藤 勝政

第3部 「次の世代へつなぐ」

「書道パフォーマンス&ジャズピアノ」 岩手女子高等学校書道部 鈴木 牧子 (岩手県ピアノ音楽協会)

- (1) 演 目／書道ガールズによる書道パフォーマンス&ジャズピアノ
岩手女子高等学校の書道ガールズによる書道パフォーマンスと鈴木牧子のジャズピアノの共演。
- (2) 出演者
◆書 道 岩手女子高等学校 書道ガールズ
東日本大震災・津波の支援活動に触発され、「岩手は負けない」を掲げ活動を開始し、その後、県内各所で書道パフォーマンスを披露している。今年の第70回県高等学校総合体育大会総合開会式のオープニングイベントとして、横30メートルの大きな紙にパフォーマンスした。ピンクのつなぎに紺のTシャツ、白い紙の上、墨痕鮮やかに「凜と咲け」。
- ◆ピアノ 鈴木 牧子
岩手芸術祭ピアノ部門において奨励賞2回受賞。自身のバンド「鈴木牧子カルテット」等で活躍し、'96年、'98年に横浜ジャズブルムナードコンペティションにおいて優秀賞を連続受賞。吉祥寺音楽祭ジャズコンテスト優秀賞受賞。

郷土芸能「中野七頭舞」 岩手県立岩泉高等学校郷土芸能同好会

- (1) 演 目／「中野七頭舞」
遙か昔「やませ」により作物が育たず、飢饉に苦しんだ岩泉町小本地区に受け継がれてきた伝統芸能。七種類の道具と踊りで原野を開墾し、作物を植え、害獣から作物を守り、収穫を分かち合う農民の営みを軽快なお囃子と躍動的な踊りで現す。途中、収穫の喜びを車座で唄う御祝唄に込め、神仏へ収穫の感謝をし、口上とともに餅まきで収穫を分かち合う場面を現す。
- (2) 出演者／岩手県立岩泉高等学校郷土芸能同好会
平成2年に創設。地元の保存会の方々にご指導をいただき、「地域を支え、地域に支えられる学校」をモットーに練習に励んでいる。8月には全国高等学校総合文化祭に出場。日頃の成果を発表するとともに豪雨災害で大変な状況にある西日本の被災地に応援のメッセージとなるよう演舞を披露する。

「声楽」 工藤 和真

- (1) 曲目1 / 「魅惑」トスティ 作曲
曲目2 / 「落葉松」小林秀雄 作曲
曲目3 / オペラ トゥーランドットより「誰も寝てはならぬ」
- (2) 出演者／工藤 和真 (テノール)
岩手県立不來方高等学校音楽科卒。東京芸大声楽科卒。同大学院独唱科修了。高校生声楽コンクール最高位優秀賞。日本学生音楽コンクール全国第3位。日本音楽コンクール声楽オペラ部門第2位受賞。日伊声楽コンクール第1位優勝。
- (3) 伴奏者／岩田 安由真

「合唱」 盛岡市立黒石野中学校特設合唱部

- (1) 曲目1 / 「Gifts」越智志帆・髯谷好位置 作曲
曲目2 / 「Alleluja」Arne 作曲
曲目3 / 「HOZHO」唐沢史比古 作曲
曲目4 / 「いざたて戦人よ」ジェームス・マクグラナハン 作曲
- (2) 出演者
◆盛岡市立黒石野中学校特設合唱部
指揮 小原一穂 / ピアノ伴奏 清水友喜
合唱好きの希望者のみで組織する“特設”の合唱部です。歌心で勝負します！
第84回NHK全国学校音楽コンクール金賞受賞。
◆工藤 和真

フィナーレ「釜石市立釜石小学校 校歌(いきいき生きる)」 全員 作詞／井上ひさし 作曲／宇野誠一郎

- (1) 指揮者／太田代 政男
(2) 伴 奏／ピアノ 鈴木 牧子

*本日の総合フェスティバルの様子は11月24日(土)午後1時よりIBCテレビで放送されます。